

## 年頭のご挨拶

2025（令和7）年1月1日

会長 緒方 章

あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、会員の皆さまは如何お過ごしでしょうか。  
日頃より会の運営につき、ご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。  
でございます。

昨年は、ようやく諸活動がコロナ前のレベルに戻り、西東京稲門会の行事もほぼ例年通り開催することができました。また各同好会の活動も徐々に元の活発な姿に戻ってきております。

今年は巳年。巳年は「再生と復活」を意味すると言われており、新しいことの始まりが期待できるということです。

西東京稲門会も、新たな気持ちで会員の皆さまとともに更なる発展を目指したいと思っております。

会の活性化にはやはりふれ合いと直接対話が欠かせません。会員同士の交流を深めることは稲門会の本来の目的の一つです。この1月11日（土）に「令和7年新年会」を開催します。久しぶりに皆さまと顔をあわせて、大いに飲み、語らい、楽しみましょう。早稲田大学津軽三味線愛好会「三津巴」の演奏、恒例の福引大会もあります。そして紺碧の空～♪、都の西北～♪をご一緒に声高らかに歌おうではありませんか。

会員の皆さまのご健勝とご多幸を祈念し、新年のご挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願い致します。